

○3番（小暮博志）3番。佐野地区広域消防組合の皆様には、日夜、市民の生命財産を守るためにご活躍をして頂き、有難うございます。平成20年度の火災は、前年度に比較して24%も減少したとのことであり、皆様方の防火活動の成果と、敬意を表したいと思えます。また、救急出動件数では、1日に約12回と、大変なご活躍をして頂き、有難く思っております。

さて、以下3つの質疑をさせていただきますので、宜しくお願い致します。

（1）冒頭でも述べさせていただきましたが、平成20年度の火災が前年度に比較して24%も減少したとのことですが、この様なよい結果となった理由について、分析しておりましたらお教え願いたいと思えます。

（2）平成20年度一般会計において、当初予算額の約15.1億円に対して、約2.4億円（約16%）多い歳出となりましたが、その理由についてお聞き致します。

（3）平成20年度は、消防施設整備事業債1億7,380万円の発行がありました。一方、この消防組合には財政調整基金が約1億3,000万円あり、健全財政のように見受けられます。今、この様な債券がほかにあるのかどうかお聞きしたいと思えます。

以上、宜しくお願い致します。

○議長（笠原敏夫）当局の答弁を求めます。

はじめに、消防本部 次長。

○次長（柳田眞一）はい、次長。

小暮議員の質疑にお答えいたします。

私の方からは、予算現額関係と債券の関係についてお答えいたします。

まずはじめに、平成20年度一般会計において、当初予算額の約15億1千万円に対して、約2億4千万円多い歳出となりましたが、その理由とのごとでございますが、まず、平成20年度は2回の補正予算で4,906万2千円の増額となりました。補正の内容でございますが、救助工作車の事故に係る修繕料の増額、繰越金及び財政調整基金積立金の増額並びに高規格救急自動車更新事業の額の確定に伴う消防債の減額等でございます。

また、平成20年の8月に岩舟町に東分署庁舎が完成いたしました。平成19年度から建設を開始し、総事業費3億804万9千円のうち平成19年度中に1億2,062万円を支払い、工事請負費等の1億8,743万円を平成20年度に繰越して支払いをいたしました。

以上の結果、予算現額が17億4,282万円となり、当初予算より約16%多くなったものでございます。

次にこのような債券がほかにあるのかどうかとのご質疑でございますが、基金については財政調整基金のみでございますが、組合債につきましては、平成20年度は東分署庁舎建設事業債及び北分署に配備された高規格救急自動車の更新整備事業債の合計金額1億7,380万円を発行いたしました。そのほかの組合債でございますが、西分署庁舎建設事業、消防緊急通信指令設備更新事業、救助工作車、高規格救急自動車等の車両更新整備事業4件で合計8件の組合債がございました。

なお、平成20年度末の未償還元金の8件分の合計金額は4億536万7千円となっております。

以上、答弁といたします。

○議長（笠原敏夫）次に、予防課長。

○予防課長（山岸久男）はい、予防課長。

小暮議員の質疑にお答えいたします。

「平成20年度の火災が前年に比較して24%も減少したとのことですが、この様なよい結果となった理由について」とのご質疑でございますが、当管内の平成19年の火災件数は88件、平成20年は67件で21件の減少となっております。

次に、よい結果となった理由でございますが、地域消防団の方の協力による火災予防広報活動、各事業所等の消防訓練、女性防火クラブ主催の防火講習会等による防火指導、さらには放火対策といたしまして、平成18年9月25日から年間をとおして消防本部及び各署所による、夜間巡回等を実施してきており、その結果の表れと推測するところでございます。

今後とも地域の安心安全のため火災予防の啓発を推進し、火災件数の減少に努めてまいりたいと考えております。

以上、答弁といたします。